システム英単語・連想記憶術１１０３～１２００

副詞

□□ 1103
precisely「正確に」→ precise「大きめのたっぷりサイズ、正確なぴったりサイズ」[プリサイス]
[5][prisáisli プリサイスリ]

point
★正確な
- accurate　＝ right とほぼ同じ「誤りがない」ことを言う。
- exact　＝ accurate よりも意味が強く、寸分違わぬ正しさを言う。
- precise　＝細かい点について正確であること、正確すぎること。

□□ 1104
meanwhile　「一方では賄賂を贈る」
[4][m íːnhwail ミーンワイル]

□□ 1105
altogether　「全て(all)の竹竿が完全に消滅」
[3][ɔːltəgéðər オールタゲザ]

□□ 1106
lately　「最近(lately)家に帰るのが遅い(late)」
[3][léitli レイトリ]

□□ 1107
barely　「相撲部屋、力士志望がゼロでもかろうじて成り立つ」
[4][béərli ベアリ]
説２００７年７月、大相撲名古屋場所（８日初日・愛知県体育館）の新弟子検査に応募者が１人もなく、２日に予定していた検査を中止したと発表した。相撲協会広報部によると、各場所前に行われる新弟子検査の受検者ゼロは史上初めて。「情けない」「寂しい限りだ」。関係者やファンからは、相撲人気の凋落（ちょうらく）を嘆く声が漏れた。

□□ 1108
scarcely　「飲み助アスリートはほとんど勝てない」
[4][skéərsli スケアスリ]

□□ 1109
accordingly　「アコーディオン、グリグリするにしたがって壊れる」
[5][əkɔ́ːrdiŋli アコーディングリ]

□□ 1110
deliberately「慎重に」→ deliberate「デリバリー、届けるときは慎重な運転」[ディリバレイト]
[6][dilíbərətli ディリバラトリ]
説「配達する」は deliver。deliberate とは全く語根を異にする別の単語。辺とつくりに分解すると、
「de=強調」＋「liber=計算する」＋「ate=形容詞語尾」＝ deliberate
　　→計算ずくの＝計画的な・故意の

□□ 1111
lonely　「彼の論理は孤独だ」
[2][lóunli ロウンリ]
説『論理哲学論考』を書いたウィトゲンシュタインは、自分の構築した世界に自分以外の人間がいなかったと言う意味で孤独な思索者だった。

□□ 1112
precious　「プレイしやすい貴重なテニスラケット」
[2][préʃəs プレシャス]

□□ 1113
minor　「マイナーな問題とは、そんなに重要でない 小さな問題のこと」
[3][máinər マイナ]
幹「mini=小」
「mini=小」＋「-mal=形容詞語尾」＝ minimal
　　→小さい＝最小限度の
「min=小」＋「-or=比較級語尾」＝ minor
　　→小さい方の＝重要でない
「min=小」＋「-ute=名詞語尾」＝ minute
　　→時を小さく分けたもの＝分・６０秒
「mini=小」＋「ster=人」＝ minister
　　→小さき者＝僕・神に仕える者＝牧師・国に使える者＝大臣
「ad=at=方向」＋「minister=大臣」＝ administer
　　→大臣としての仕事をする＝管理する・執行する
「di=dis=離」＋「mini=小」＋「-sh=動詞語尾」＝ diminish
　　→切り離して小さくする＝少なくなる・小さくなる

□□ 1114
isolate　「愛想０点！どうしても孤立している」
[6][áisəleitid アイソレイテド]

□□ 1115
generous　　「自営ならすぐに支払え！あんたは気前がよい人！」
[4][dʒénərəs ジェナラス]
幹「gene=生む」
「gene=生む」＋「-ous=形容詞語尾」＝ generous
　　→生まれの良い性質＝寛大な・優しい
「gene=生む」＋「-al=形容詞語尾」＝ general
　　→生まれるものに共通する＝一般的な
「gene=生む」＋「-ate=動詞語尾」＝ generate
　　→生み出す＝生じさせる

□□ 1116
tropical　　「トロピカル・フルーツは熱帯地方の果物」
[4][trάpikəl トラピカル]

□□ 1117
reluctant　　「中日は無理、楽天といやいやの 気が進まない入団交渉」
[5][rilʌ́ktənt リラクタント]

□□ 1118
vague　　「沖縄駐留米軍の漠然とした脅威」
[3][véig ベイグ]
幹「vaga=vagu=定まらず」
「vaga=定まらず」＋「bond=人」＝ vagabond
　　→目的地が定まらない人＝放浪者・浮浪者
「vagu=定まらず」＋「-ue=形容詞語尾」＝ vague
　　→はっきりと定まらない＝曖昧な・漠然とした
「extra=越える」＋「vaga=定まらず」＋「-ant=形容詞語尾」＝ extravagant
　　→限度内に落ち着かず超え出る＝度を超えた・無茶な

□□ 1119
principal　　「チャプリン氏、パルコが主要な活動拠点」
[3][prínsəpl プリンサプル]
幹「princi=第１の」
「princi=第１の」＋「pal=人」＝ principal
　　→そのグループの筆頭者＝校長・主導者
「princi=第１の」＋「ple=名詞語尾」＝ principle
　　→第１のもの＝原理・原則

□□ 1120
numerous　　「ニュー（ヨーク）マラソンにたくさんの参加者」
[5][njú:mərəs ニューマラス]

□□ 1121
rural　　「ルールある田舎の生活」
[4][rúərəl ルーラル]

□□ 1122
temporary　　「天（から）パラリと一時的な雨」
[3][témpərəri テンパラリ]
幹「tempor=時」
「temor=時」＋「-ary=形容詞語尾」＝ temporary
　　→一時的な＝仮の・はかない
「con=共」＋「tempor=時」＋「-ary=形容詞語尾」＝ contemporary
　　→時を共有する＝同時代の

□□ 1123
artificial　　「名駅のアーチ光るよ、人工の美しさ」
[4][ɑ:rtəfiʃəl アータフィシャル]
幹「art=技術」
「art=技術」＋「fic=作る」＋「-ial=形容詞語尾」＝ artificial
　　→人の技術を用いて作った＝人造の・不自然な
「art=技術」＋「-ful=いっぱい」＝ artful
　　→技術がいっぱいの＝熟練した・狡猾な
「art=技術」＋「-icle=小」＝ article
　　→技術が生んだもの＝品物

□□ 1124
visible　　「美人ぶるのが目に見える」
[4][vízəbl ビザブル]
幹「vis=見える」
「vis=見える」＋「-ible=可」＝ visible
　　→見ることが出来る＝目に見える
「vis=見える」＋「-ual=形容詞語尾」＝ visual
　　→見ることに関する＝視力の・視覚の
「vis=見る」＋「-ion=名詞語尾」＝ vision
　　→目に見えるもの＝視覚・視力

□□ 1125
raw　　「牢の中では生の肉」
[2][rɔ: ロー]

□□ 1126
remote　「やっぱりもうとても住めないへんぴな村」
[4][rimóut リモウト]
説 リモコンはリモート・コントロール（remote control）の略語で、遠隔制御のこと。

□□ 1127
urgent　「ああジェントリーたちの緊急の集まり」
[4][ə́ːrdʒənt アージェント]
説 ジェントリ(gentry)はイギリスにおける下級地主層の総称。男爵の下に位置し、貴族には含まれない。しかし、貴族とジェントリの間には称号以外の特権的な差異は無く、両者とも中世における封建領主であった事から一つの「地主貴族層」として扱われる。(by Wikipedia)

□□ 1128
silly　「人前で尻を見せるバカな奴」
[2][síli シリ]

□□ 1129
striking　「ストライキ、因果関係によるいちじるしい改善」
[4][stráikiŋ ストライキング]

□□ 1130
adequate　「味、きっと激辛！十分な量の唐辛子入れたから」
[6][ǽdəkwit アダキット]

□□ 1131
extraordinary「なみはずれた」→ ordinary「王子なりとも普通の子」[オーディネリ]
[4][ikstrɔ́ːrdəneri イクストローダネリ]
説 extra-は「超越」の意味の接頭語。だから extra-ordinary で「普通の状態を越えている」→「普通じゃない」の意味になる。

□□ 1132
odd　「おどおどした変な奴」
[3][ɑ́d アド]

□□ 1133
abstract　「ハーブ吸うと楽と言う抽象的な奴」
[4][ǽbstrækt アブストラクト]
幹「tract=引く」
「abs=離」＋「tract=引く」＝ abstract
　→実体から特徴を引き離す＝抽象化する
「at=方向」＋「tract=引く」＝ attract
　→こっちの方に引きつける＝魅了する
「ex=外」＋「tract=引く」＝ extract
　→外へ引き出す＝抽出する
「dis=離」＋「tract=引く」＝ distract
　→注意を引き離す＝気をそらす
「abs=離」＋「tract=引く」＝ abstract
　→実体から特徴を引き離す＝抽象化する
「sub=下」＋「tract=引く」＝ subtract
　→数を引いて少なくする＝差し引く
「con=共」＋「tract=引く」＝ contract
　→互いに引き合う＝契約する

□□ 1134
mutual　「？み宇宙ある相互の理解」
[4][mjúːtʃəl ミューチュアル]
幹「mut=変わる・代わる・換える」
「mut=代わる」＋「-ual=形容詞語尾」＝ mutual
　→互いに順番を代わり合う＝相互の・共同の
「com=共」＋「mut=換える」＝ commute
　→お互いに取り換える＝取り換える・換算する
　→居住地と職場とが変わる＝通勤する・通学する
「commute=通勤する・通学する」＋「-er」＝ commuter
　→通勤する人・通学する人＝通勤者・通学者

□□ 1135
excessive　「行くぜ！渋谷ライブの過剰な盛り上がり」
[5][iksésiv イクセシヴ]
「-cess=行く・来る」
「ac=at=方向」＋「-cess=行く」＝ access
　→そっちに向かってゆく＝接近・接近手段・交通の便
「ex=超」＋「-cess=行く」＝ excess
　→限界を超えてゆく＝超過・過多
「pro=前」＋「-cess=行く」＝ process
　→前に行く＝進行・過程
「re=後・裏」＋「-cess=行く」＝ recess
　→舞台裏に行く＝休憩する・休み
「suc=sub=下」＋「-cess=来る」＝ success
　→努力の末について来るもの＝成功

□□ 1136
ashamed　「玉の汗、医務(室)で淫行なんて恥ずかしい」
[3][əʃéimd アシェイムド]

□□ 1137
tremendous　　「取り乱すほどとてつもなく大きいチンポ」
[6][triméndəs トリメンダス]

□□ 1138
inevitable　　「稲、エビ食べるのは避けられない日本人」
[4][inévitəbl イネビタブル]

□□ 1139
pure　　「ピュアなハートは純粋な心」
[2][pjúər ピュア]

□□ 1140
stable　　「椅子、テーブルは安定したものを！」
[4][stéibl ステイブル]
幹「sta=stand=立つ」
「sta=立つ」＋「-able=可能」＝ stable
　　→立っていることができる＝倒れない・安定した
「e=強調」＋「stable=安定した」＋「-ish=化する」＝ establish
　　→安定化する＝確立する・制定する
「sta=立つ」＋「-ge=名詞語尾」＝ stage
　　→立っているもの＝舞台・ステージ
「ob=反」＋「sta=立つ」＋「-cle=名詞語尾」＝ obstacle
　　→逆らって立っているもの＝障害物・邪魔
「sta=立つ」＋「-tion=名詞語尾」＝ station
　　→立っているもの＝駅・停留所・局・署
「sta=立つ」＋「-tue=名詞語尾」＝ statue
　　→立っているもの＝彫像
「sta=立つ」＋「-tus=状態」＝ status
　　→立っている状態・どれだけ立派に立っているか＝身分・地位・階級・財産

□□ 1141
indifferent　　「満員で入れんときは無関心な態度」
[6][indífərənt インディファラント]
頭「in=否」
「in=否」＋「different=違う」＝ indifferent
　　→違いはない・どちらでも同じ＝無関心な・無頓着な
「in=否」＋「comparable=比較できる」＝ incomparable
　　→比較できない＝比類ない
「in=否」＋「accessible=近づける」＝ inaccessible
　　→近づけない＝手の届かない・よそよそしい・行けない
「in=否」＋「adequate=適当な」＝ inadequate
　　→適当じゃない＝不適切な
「in=否」＋「consistent=一貫した」＝ inconsistent
　　→首尾一貫していない＝矛盾した
「in=否」＋「dispensable=なくても済む」＝ indispensable
　　→なくては済まない＝不可欠の
「in=否」＋「equality=平等」＝ inequality
　　→平等でないこと＝不平等
「in=否」＋「valuable=評価できる」＝ invaluable
　　→評価できないくらいの＝非常に貴重な
　　＊ valuable を「価値がある」とすると「in=否」で「価値のない」となっておかしくなるので注意すべし。

□□ 1142
aggressive　　「ああ、グレ（て）渋る攻撃的な行動」
[5][əgrésiv アグレシヴ]

□□ 1143
ultimate　　「売る血！みっともない究極の貧困」「僕が僕であるため！と究極の努力」
[5][ʎltimit アルチミット]

□□ 1144
shy　　「内気な子は来てくだシャイ」
[3][ʃái シャイ]

□□ 1145
solar　　「空から太陽のエネルギー」
[6][sóulər ソウラ]
幹「sol=太陽」
「sol=太陽」＋「-ar=形容詞語尾」＝ solar
　　＝太陽の
「para=防」＋「sol=太陽」＝ parasol
　　→太陽の熱を防ぐ＝パラソル・日傘

□□ 1146
profound　　「プロ不安、ドーピングは奥の深い問題」
[6][prəfáund プラファウンド]
幹「found=基礎・底」
「pro=前」＋「found=底」＝ profound
　　→ずっと底を目指す＝奥の深い・深遠な
「found=基礎」＋「-er=人」＝ founder
　　→基礎を築いた人＝設立者・創立者・開祖
「found=基礎」＋「-ation=名詞語尾」＝ foundation
　　→基礎を置くこと、または基礎それ自体＝設立・創立、基礎・土台、財団・基金

□□ 1147
subtle　「微妙な違いを悟る」
[6][sʌ́tl サトル]

□□ 1148
conservative　「部下は監査バテ！部長は控えめな叱責」
[5][kənsə́ːrvətiv カンサーバティブ]

□□ 1149
brave　「無礼、ぶしつけも場合によっては勇敢な振る舞い」
[2][bréiv ブレイブ]

□□ 1150
intense　「院展すごく激しい色づかい」
[4][inténs インテンス]

□□ 1151
hostile　「ほー、スタイル悪いねと敵意のある発言」
[6][hástəl ハスタル]
尾「-ile=傾向がある・しやすい」
「hostis=敵」＋「-ile=傾向がある」＝ hostile
　→敵対する傾向がある＝敵意に満ちた・対立する
「ferre=実」＋「-ile=しやすい」＝ fertile
　→実を結びやすい＝肥沃な・多産な
「juvenis=若」＋「-ile=傾向がある」＝ juvenile
　→比較的若い＝青少年の・少年少女向きの

□□ 1152
acid　「酸性雨で足止め」
[4][ǽsid アシド]

□□ 1153
cruel　「狂えるヘロデ王、残酷なしうち」
[3][krúːəl クルーアル]
説 ローマ帝国の権威を背後にユダヤに君臨した。建築マニアとして知られ、エルサレム神殿の大改築を含む多くの建築物を残した。だが、猜疑心が強く身内を含む多くの人間を殺害したことでも有名。(Wikipedia)

□□ 1154
rational　「ＤＶＤプレーヤーはナショナル(national)買うのが合理的な(rational)」
[5][rǽʃənəl ラシャナル]

□□ 1155
initial　「イニシャルは最初の文字で頭文字」
[4][iníʃəl イニシャル]
幹「it=行く」
「in=中」＋「it=行く」＋「-iate=動詞語尾」＝ initiate
　→中に入ってゆく＝入門する・入門させる、始める
「in=中」＋「it=行く」＋「-ial=形容詞語尾」＝ initial
　→入門したての＝手始めの・最初の
「trans=移」＋「it=行く」＝ transit
　→場所を移り行く＝通過・横断・推移
「circu=circle=丸」＋「it=行く」＝ circuit
　→回ってゆく＝回路・サーキット

□□ 1156
rigid　「理事どうしの厳格な会話」
[6][rídʒid リジッド]

□□ 1157
linguistic　「りん議素敵！言語の節約になるから」
[7][liŋgwístik リングィスティック]
説 稟議(りんぎ)とは官庁・会社などで、会議を開くほど重要でない事項について、主管者が決定案を作って関係者間に回付し承認を求めること。

□□ 1158
crucial　「苦しいアル中の重大な決断、禁酒」
[5][krúːʃəl クルーシャル]

□□ 1159
verbal　「ババァ、ルビふって言葉の勉強」
[7][və́ːrbəl バーバル]

□□ 1160
optimistic　「×楽観的な」
[5][ɑptim ístik アプティミスティック]
幹「opt=望」
「opt=望」＋「im=最上級語尾」＋「istic=形容詞語尾」＝ optimistic
　→一番望ましい状態だと思っている＝楽観的な
「opt=望」＋「-tion=名詞語尾」＝ option
　→望むものを取ること＝選択・オプション
「ad=at=方向」＋「opt=望」＝ adopt
　→望ものを指さす＝採用する・養子にする

□□ 1161
flexible　　「×柔軟性のある」
[5][fléksəbl フレクサブル]
幹「flex=自由に曲がる」
「flex=自由」＋「time=時間」＝ flextime
　　→自由に時間を決められる＝自由勤務時間制
「flex=曲がる」＋「-ible=可能」＝ flexible
　　→自由に曲げられる＝しなやかな・柔軟性のある・適応性のある

□□ 1162
grateful　　「グレイト！フルに感謝している」
[2][gréitfəl グレイトフル]
幹「grate=喜」
「grate=喜」＋「-ful=いっぱい」＝ grateful
　　→喜びでいっぱい＝感謝している
「grate=喜」＋「-titud=名詞語尾」＝ gratitude
　　→喜ぶこと＝感謝
「con=共」＋「grate=喜」＋「tulate=動詞語尾」＝ congratulate
　　→喜びを共にする＝祝う

□□ 1163
lively　　「生き生きとした(lively)図書館(library)」
[4][láivli ライブリ]

□□ 1164
overwhelming　「叔母飢える！民具売るほど圧倒的な貧困」
[5][ouvərhwélmiŋ オウバウェルミング]

□□ 1165
indispensable　「調査員、出すペンしゃぶるのが不可欠だ」
[7][indispénsəbl インディスペンサブル]
頭「in=否」
「in=否」＋「different=違う」＝ indifferent
　　→違いはない・どちらでも同じ＝無関心な・無頓着な
「in=否」＋「comparable=比較できる」＝ incomparable
　　→比較できない＝比類ない
「in=否」＋「accessible=近づける」＝ inaccessible
　　→近づけない＝手の届かない・よそよそしい・行けない
「in=否」＋「adequate=適当な」＝ inadequate
　　→適当じゃない＝不適切な
「in=否」＋「consistent=一貫した」＝ inconsistent
　　→首尾一貫していない＝矛盾した
「in=否」＋「dispensable=なくても済む」＝ indispensable
　　→なくては済まない＝不可欠の
「in=否」＋「equality=平等」＝ inequality
　　→平等でないこと＝不平等
「in=否」＋「valuable=評価できる」＝ invaluable
　　→評価できないくらいの＝非常に貴重な
　　＊ valuable を「価値がある」とすると「in=否」で「価値のない」となっておかしくなるので注意すべし。

□□ 1166
selfish　　「競るフィッシュ（さかな）に自分本位な値段をつける」
[3][sélfiʃ セルフィシュ]
尾「-ish=〜の性質のある・〜的な」
「self=自己」＋「-ish=的な」＝ selfish
　　→自己中心的な＝利己的な
「child=子供」＋「-ish=的な」＝ childish
　　→子供の様な＝子供らしい・大人げない
「fever=熱」＋「-ish=的な」＝ feverish
　　→熱を帯びた＝熱のある・興奮した
point「-ish」は悪い意味に、「-ly」は良い意味に使う。「-like」は良くも悪くもない中間的な意味。
　　mannish=大人ぶった・(女性が)男っぽい
　　manly=勇ましい・気高い
　　manlike=男性的な・人のような

□□ 1167
ugly　　「ヘア・グリスつけ過ぎはみにくい」
[3][ʌ́gli アグリ]

□□ 1168
racial　　「礼しはるのは民族の誇り」「霊視やるのは人種の血」
[5][réiʃəl レイシャル]
「race=民族」＋「-al=形容詞語尾」＝ racial
　　→民族に関わる＝民族の・人種の

□□ 1169
prominent　　「プロ皆うんと卓越した才能」
[5][prámənənt プラマナント]
「minent=突き出た」
「pro=前」＋「minent=突き出た」＝ prominent
　　→人よりも一歩前に抜け出した＝卓越した・顕著な
「e=ex=外」＋「minent=突き出た」＝ eminent
　　→人よりも一歩外に抜け出した＝卓越した・顕著な

□□ 1170
immense　「君のいい面、すごく大きい」
[4][iméns イメンス]

□□ 1171
federal　「カフェ(から)出らるる連邦のお偉いさん」
[5][fédərəl フェダラル]
「deder=条約」＋「-al=性質を持つ」＝ federal
→条約によって結ばれた＝連邦の・同盟の

□□ 1172
ridiculous　「不景気に金利で暮らすのはバカげたやり方」
[5][ridíkjuləs リディキュラス]

□□ 1173
imaginary　「架空のものなり、イマジナリ」
[5][imǽdʒineri イマジネリ]
point　派生語も一緒に覚える！
・「-tive はいっぱいで、いっぱい想像する＝想像力のある imaginative」
・「-able は可能で、想像できる＝考えられる imaginable」

□□ 1174
harsh　「外人の俺に箸を使えとは無慈悲な！」
[4][hɑ́ːrʃ ハーシ]

□□ 1175
random　「でたらめな(random)ガンダム(Gundam)」
[5][rǽndəm ランダム]

□□ 1176
helpless　「× 無力な・頼りない」
[3][hélplis ヘルプリス]
尾「-less=無」
「help=助力」＋「-less=無」＝ helpless
→助けがない＝無力な・寄る辺ない
「price=値段」＋「-less=無」＝ priceless
→値段がつけられない＝極めて貴重な
「sense=感覚」＋「-less=無」＝ senseless
→意義が感じられない＝意味のない
→感覚がない＝意識を失った
「rest=安心」＋「-less=無」＝ restless
→安心できない＝不安な・落ち着かない
「regard=関心」＋「-less=無」＝ regardless of ～
→～に関心がない＝～を無視して・～にもかかわらず

□□ 1177
up-to-date　「好感度アップだ！デートにつながる最新のファッション」
[5][ʌ́ptədéit アップタデイト]

□□ 1178
liberal　「真理！ベラルーシで一人自由主義者」
[4][líbərəl リバラル]

□□ 1179
prior　「プライヤーより前の道具」
[7][práiər プライア]

□□ 1180
moderate　「ゴマたれと紅葉おろしで控えめな味付け」
[5][mɑ́dərit マダリト]
説　音楽の速度表示で「中くらいの速さ」を意味するのが「モデラート」。速くもなく遅くもない「控えめな」速度。
幹「mode=型・新しい型」
「mode=型」＋「-ate=形容詞語尾」＝ moderate
→型にはまった＝節度のある・適度の
「mode=型」＋「-est=形容詞語尾」＝ modest
→型にはまった＝慎み深い・控えめな
「mode=型」＋「-el=名詞語尾」＝ model
→型にはまったもの＝模型・模範・モデル
「mode=新しい型」＋「-rn=形容詞語尾」＝ modern
→新しい様式＝現代の・最新の

□□ 1181
fluent　「ちんぽ振るえええんとちゃうの、と流暢な関西弁」
[5][flúːənt フルーエント]
幹「flu=流」
「flu=流」＋「-ent=形容詞語尾」＝ fluent
→流れるような＝流ちょうな
「flu=流」＋「-id=名詞語尾」＝ fluid
→流れる性質のあるもの＝流体
「in=中」＋「flu=流」＋「-ence=名詞語尾」＝ influence
→人の力が自分の中に流れ込むこと＝影響力・感化
「re=後」＋「flu=流」＋「-ence=名詞語尾」＝ refluence
→逆に流れること＝逆流

□□ 1182
elaborate　　「金獅子賞に選ばれたのはあの手の込んだ作品」
[6][ilǽbərit イラバリット]
幹「labor=働く」
「labor=働く」＋「-tory=場所」＝ laboratory
　　→学者が働く場所＝研究室・実験室
「e=enough=充」＋「labor=働く」＋「-ate=形容詞語尾」＝ elaborate
　　→充分に仕事がなされた＝入念な・精巧な
「co=共」＋「labor=働く」＋「-ate=接尾辞」＝ colaborate
　　→一緒に働く＝協力する

□□ 1183
incredible　　「あの娘がワインくれ！ダブルでなんて、信じられない話」
[5][inkrédəbl インクレダブル]
「in=否」＋「credit=信用」＋「-able=可」＝ incredible
　　＝信じられない

□□ 1184
radical　　「裸で怒る過激な女」
[4][rǽdikəl ラディカル]
幹「radi=根」
「radi=根」＋「-cal=形容詞語尾」＝ radical
　　→根本からの＝根本的な
「radi=根」＋「-sh=名詞語尾」＝ radish
　　→大きな根＝大根
「e=ex=外」＋「radi=根」＋「-cate=動詞語尾」＝ eradiate
　　→根を引き抜く＝根絶する

□□ 1185
manual　　「マニュアル書くのに手を使う」
[4][mǽnjuəl マニュアル]
幹「manu=手」
「manu=手」＋「-al=形容詞語尾」＝ manual
　　→手の＝手を使う・手動の、取扱説明書・マニュアル
「manu=手」+「fact=作る」＝ manufacture
　　→手で作る→製造する
「manu=手」+「script=書く」＝ manuscript
　　→手で書かれたもの＝原稿

□□ 1186
handicapped　　「下半(身)でキャップ取り付ける障害のある人々」
[6][hǽndikæpt ハンディキャップト]

□□ 1187
deaf　　「出船の音がきこえない」
[2][déf デフ]

□□ 1188
medieval　　「眼で威張る中世の貴族」
[5][mi:dií:vəl ミーディイーバル]
幹「medi=真ん中」
「medi=真ん中」＋「eval=時代の」＝ medieval
　　→歴史の真ん中の時代の＝中世の
「medi=真ん中」＋「-um=名詞語尾」＝ medium
　　→中間にあるもの＝ミディアム・媒介物・媒体
「medi=真ん中」＋「terra=土地」＋「-nean=名詞語尾」＝ Mediterranean
　　→土地の真ん中にあるところ＝地中海
「im=in=否」＋「medi=真ん中」＋「-ate=形容詞語尾」＝ immediate
　　→真ん中がない＝直接の・即時の
「inter=2 者の間」＋「medi=真ん中」＋「-ate=動詞・形容詞語尾」＝ intermediate
　　→ 2 者の中間に入り込む＝仲介する、中間の

□□ 1189
ecological　　「良い子ロジカル(論理的)に生態系の保護を説く」
[8][i:kəlάdʒikəl イーカラジカル]

□□ 1190
mobile　　「生活費も倍要る流動的な社会」
[8][móubəl モウバル]
説 携帯電話を mobile phone と呼ぶことがある。「可動性の電話」だからだ。他にも次のような表現がある。
　　cellular phone
　　cell phone
　　handset

□□ 1191
ignorant　　「大工（だいく）の乱闘なんて知らない」
[4][ígnərənt イグナラント]

□□ 1192
definitely　　「安さではニトリ？ーはっきりイエス」
[4][définitli デフィニトリ]
幹 fine=限界
「de=↓」＋「fine=限界」＋「-ite=形容詞語尾」＝ definite
　　→意味の限界を定めるような→ハッキリと限定された・明確な・確かな

□□ 1193
virtually　　「厳しい罰あり！ほとんど全ての犯罪者に」
[7][və́ːrtʃuəli **バー**チュアリ]

□□ 1194
approximately　「アップルかすめ取り、だいたい１０万で転売」
[5][əpráksəmətli ア**プラ**クサマトリ]

□□ 1195
instantly　　「収入印紙(で)たんと利益あがっても、すぐになくなる」
[5][ínstəntli **イ**ンスタントリ]
幹「stant=stand=立つ」
「in=近」＋「stant=立つ」＝ instant
　　→すぐ近くに立っている＝即時の・緊急の
「con=共」＋「stant=立つ」＝ constant
　　→変わることなく共に立つ＝忠実な→貞節のある、不変の・不断の
「dis=離」＋「stant=立つ」＝ distant
　　→離れて立つ＝隔たった・遠方の

□□ 1196
literally　　「文字通りたらりと流れる俺の精子」
[5][lítərəli **リ**テラリ]
幹「liter=letter=文字」
「liter=文字」＋「-al=形容詞語尾」＝ literal
　　→文字の＝文字通りの
「liter=文字」＋「-ature=名詞語尾」＝ literature
　　→文字に長けていること＝文学
「liter=文字」＋「-ate=形容詞語尾」＝ literate
　　→文字が書ける＝読み書きの出来る
「i=in=否」＋「literate=読み書きの出来る」＝ illiterate
　　→文盲の・教養のない

□□ 1197
seemingly　　「善良な市民繰り返す一見バカげた愚行」
[5][síːmiŋli **シ**ーミングリ]

□□ 1198
frankly　　「フランク、理恵に対し率直に愛の告白」
[4][frǽŋkli **フ**ランクリ]

□□ 1199
regardless　　「真理がドレスに関係なく美しいこと」
[5][rigáːrdləs リ**ガー**ドレス]
尾「-less=無」
「regard=関心」＋「-less=無」＝ regardless of ～
　　→～に関心がない＝～を無視して・～にもかかわらず
「help=助力」＋「-less=無」＝ helpless
　　→助けがない＝無力な・寄る辺ない
「price=値段」＋「-less=無」＝ priceless
　　→値段がつけられない＝極めて貴重な
「sense=感覚」＋「-less=無」＝ senseless
　　→意義が感じられない＝意味のない
　　→感覚がない＝意識を失った
「rest=安心」＋「-less=無」＝ restless
　　→安心できない＝不安な・落ち着かない

□□ 1200
thoroughly　　「サラリーマンはアフターファイヴを徹底的に楽しむ」
[4][θə́ːrouli **サー**ロウリ]